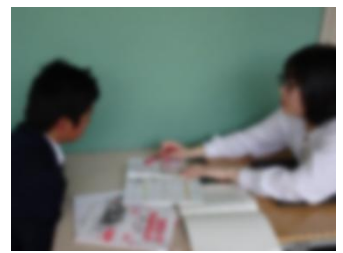


令和7年度 学びの充実あと押し事業
「主体性」を育むために

実践内容

【①家庭学習に主体性を持たせる学びの時間の創設】

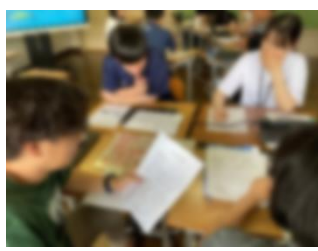
やらされる宿題ではなく、自分に必要な課題を行う自立した学習者を目指して、昨年度より、本校独自の「学びの足跡」を用いて家庭学習のプランニングを行っています。各自で時間を生み出して行うようにしていましたが、中々浸透していませんでした。そこで、今年度より、毎週水曜日の清掃の20分間を「学びの時間」に置き換え、生徒が自身の学びの自己調整を行ったり、全校集会で他学年のプランニングを学んだり、教科担任との学習相談を実施することを通して、自己の学びを更新していく時間を設けました。



【②生徒が主語になる場面を増やしていくために】

環境を整え、生徒に学びを委ねていく場面を増やせば、主体性が育まれていくと考えました。その為に、職員が「学び合い旬間」で互いの授業を見合ったり、校内研修を複数回実施し、全職員で授業改善を行っています。

例えば理科では、本校の重点にもなっている「問い続けたくなる問い」を意識しながら、科学的に探究する授業を年間で継続して行いました。又、通常の授業に加え、自らが立てた問いについて追究して、発表し合う一研究も全校で実施しました。



成果と課題

○成果

- ・12月に実施した授業アンケートでは、全教科において肯定的割合が上昇した。
- ⇒学ぶ意義を見出し、より一層主体的に学びに向かうことができるように、知的好奇心に火をつけるような授業づくりを、今後も全職員で目指していく。
- ・昨年から、中学生が小学生との交流の内容を企画・運営する「小中交流の日」を行い、主体的に活動する経験をしている。授業だけでなく、生徒会など、学校生活のあらゆる場面で主体性を育むための活動を行っているのも成果といえる。

●課題

- ・「学びの時間」の在り方について検討し、次年度更によりよいものにしていく。
- ・伸びる子をもっと伸ばす視点での授業づくりを行う必要がある。